

平成30年4月13日

各 位

株式会社 Olympicグループ

代表者名 代表取締役社長 金 澤 良 樹

(URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>)

(コード番号 : 8289 東証第1部)

問合せ先 代表取締役副社長管理本部長 木住野 福寿

(TEL 042-300-7200)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年2月期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、平成30年4月13日開催の取締役会において、平成29年2月期決算短信発表時（平成29年4月12日）に公表した平成30年2月期通期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

平成30年2月期第4四半期（平成29年12月1日～平成30年2月28日）において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗に係る固定資産の収益性を検討した結果、収益性の低下した店舗の設備等について減損損失304百万円を計上する見込みとなりました。

これにより、第3四半期までに計上いたしました減損損失39百万円と合わせ、平成30年2月期通期で344百万円の減損損失を計上する見込みであります。

2. 業績予想の修正について

平成30年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	109,000	1,200	1,000	600	26.12
今回修正予想(B)	106,833	243	119	△142	△6.19
増減額(B-A)	△2,167	△957	△881	△742	
増減率(%)	△2.0	△79.8	△88.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	108,240	838	665	15	0.67

修正の理由

営業収益につきましては、ディスカウント部門の売上不振が続いたことや、テナント収入も減少したことから、予想を下回りました。

利益面におきましては、広告に頼らず、平常から同一の低価格で販売を続け集客力アップを図るEDLP政策を継続しつつ、店舗改装等により商品構成を変えたことで、利益率に改善は見られましたものの、営業収益が減少したことで営業総利益が減少いたしました。

また、フード部門の売場拡大による人件費の増加や光熱費の上昇、販売促進費や一般管理費等

の経費削減で補うことができなかつたため、営業利益、経常利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

また、店舗設備等の減損処理を行い、特別損失を計上いたしました結果、親会社株主に帰属する当期純利益も予想を下回る見込みとなりました。

※ 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上